

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8号 機械振興会館内

TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒566-8585 大阪府摂津市西一津屋1-1

ダイキン工業(株) 油機事業部企画部

TEL. 06 (6349) 0241 FAX. 06 (6349) 9865

～ 第100回編集委員会が開催され、新編集方針が決まる。 ～

9月16日 機械振興会館6-66会議室にて、第100回編集委員会が開催された。冒頭、川瀬委員長から、第100回の節目でもあり、工業会事務局体制も変わったことから、今後より一層SDGs等の環境問題、DXの推進、油圧から電動化への流れなど最近の話題・動き等を俯瞰し、そこからフルードパワーの強み、利便性を、会員だけでなく広く一般の方々にもアピールしていくような機関誌作りをしていきたい旨方



主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第100回編集委員会が開催され、新編集方針が決まる。	1	
委員会開催・活動状況		
標準化事業	2	
技術調査事業	3	今後の主要行事予定 4
広報・PR関連事業	4	統計資料 7
会員ニュース	4	

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL <http://www.jfpa.biz/>

針が出された。今後の主な編集方針は次のような内容である。

- ① 広く広報するために、HP の一般公開部分には、機関誌の目次しか載せていなかったが、今後は機関誌全体をアップする。
- ② 当業界の動向・規模を正確に知ってもらうために、統計欄を新しく設けるとともに、工業会活動報告も併せて新設する。
- ③ 産学連携についての記事をより充実させる。具体的には、YouTube での香川先生、北川先生の「フルードパワー研究所」の紹介記事や関連する技術研究組合の技術内容の連載化等が検討された。
- ④ 特集記事の一層の充実を図る。その為、今後もより時宜を得たテーマを捉え、この紹介・解説記事を定例化する。具体的には、次回から SDG s を題材にすることとなった。

次回秋号から順次この方針で編集・発行することになった。

最後に、今後も、皆様読者のご意見を戴き、より良い機関誌にしていくことが委員全体で確認された。

~~~~~

#### 標準化事業

~~~~~

空圧信頼性分科会

日 時 9月21日(水)、13:30~16:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 妹尾主査以下5名(うちリモート:5)
事務局 前畑
議 事

前回議事録の確認後、ISO 国際会議について情報共有した(「*ISO 関連情報」参照)。

次いで、ISO/TC131/WG4 国際会議の課題である ISO19973-1 附属書 F の修正案について、修正内容の確認及び検討を行った。

次回開催：1月24日、機械振興会館+リモート

空気圧継手・チューブ分科会

日 時 9月27日(火)、13:30~16:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 浅里主査以下7名(うちリモート:7)
事務局 前畑
議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO11619 : DIS 移行可否の WG 投票→賛成、で投票したとのこと。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した(「*ISO 関連情報」参照)。

次いで、JIS_B8381-2 (空気圧用継手—第2部：熱可塑性樹脂チューブ用締込み継手) について、改正内容の検討を行った。

次回開催：2月7日、機械振興会館+リモート

油空圧シール分科会

日 時 9月28日(水)、13:30~16:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 南主査以下9名(うちリモート:9)
事務局 前畑
議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO/TC131/SC7/N710 : WG2 解散の CIB 投票→賛成、ISO/TC131/SC7/WG3/N310 : フランス提案プロジェクト発足賛否の WGC 投票→反対、ISO3601-1 : 定期見直し投票→継続(Confirm)、ISO/TC131/SC7/Resolution02-2022 : ISO3601-2 プロジェクト再開の CIB 投票→賛成、で投票したとのこと。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した(「*ISO 関連情報」参照)。

次いで、7/28 開催(ウェブ会議)の ISO/TC131/SC7/WG10 国際会議の報告があり、情報共有した。日本意見は全て不採用となり、対応についてシール分科会小委員会で協議したとのこと。

次いで、JISB8396 (油圧—シリンダー往復動用ピストン及びロッドシールのハウジング寸法及び許容差) の改正について、対応国際規格 (ISO5597) と比較しながら改正作業を行った。

次回開催：12月13日、機械振興会館+リモート

*ISO 関連情報

- ISO 中央事務局より、国際会議の形式は各 TC の管理者レベルで審議し開催形式を決定しても良いとの通達が出ている。
- ISO/TC131 関係の 2022 年の国際会議として、秋季(10月)は日本・姫路での対面会議を計画されていたが、まだ開催困難につきウェブ会議となった。
- ISO/TC118/SC3&SC4 関係の 2022 年の国際会議は、対面会議として計画されている。
- 今月開催された ISO 国際会議は下記の通り。会議の詳細については、別途、報告書を作成・発行します。
9/15-16 : ISO/TC118/SC4/WG1 : ドイツ・ノイス

~~~~~  
技術調査事業  
~~~~~

技術委員会空気圧部会第 594 回特許分科会

日 時 9 月 16 日 (金) 13 : 30 ~ 15 : 00

場 所 WEB 会議

出席者 瀧幹事以下 4 名

事務局 吉田

議 事

はじめに前回議事録及び配付資料の確認を行った。公報の検討と無効理由調査について、4 件について引き続き調査をすることとした。弁理士による特許調査セミナーを行うこととした。

次回開催 : 10 月 14 日 (金)

場所 : WEB 会議

I o T 推進部会

日 時 9 月 29 日 (木)、15:00~17:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 満嶋部会長以下 17 名(うちリモート:17)

事務局 前畑

議 事

今回は、前回同様、講演を兼ねた会議として開催し、満嶋部会長の進行により開会した。

最初に、当工業会の会員企業でもある日立建機社 : 井村進也様より、「日立建機における ICT 製品・事業の現状と今後の展開」と題して、ICT・IoT を活用した建設機械及び建設施工システムに関するソリューション、同社が目指す建設施工現場の姿等について、ご講演頂いた。

その後、質疑応答という形で、意見交換・ディスカッションを行った。各委員からは、ICT・IoT 建設機械に対応した油圧機器への要求、多様な遠隔・自動化のための共通プラットフォームの具体的活用例等、活発な意見交換・ディスカッションが行われた。

次回のテーマ・議題については、別途検討することとした。

次回開催 : 別途調整

~~~~~  
国際交流事業  
~~~~~

国際委員会

日 時 9 月 15 日 (木) 10:20~ 15:30

場 所 見学会 JAL SKY MUSEUM(羽田整備場)

委員会 大田区産業プラザ会議室

出席者 新開委員長以下 10 名

事務局 大熊

議 事

見学会 10:20 ~ 12:20

羽田空港内にある JAL の格納庫において実施されている『JAL スカイミュージアム』において見学会を実施した。見学した際は、ボーイング 787 の定期メンテナンスが行われており、目の前で巨大な航空機を見ることができた。また、工業会の見学グループの説明員の方は、以前整備の作業をされていた方で、エアバスとボーイングの機体の設計の違いとか使用する航空燃料や油圧制御で使用する油のタイプなどについても説明いただいた。また昔の航空機は基本的に油圧制御で動作させていたが、現在の航空機は全体的には電動化にて動作させているとのことであった。それに伴い、軽量化によりエンジンの出力を低く抑え機内の騒音を低くできているとのことであった。しかし、すべてが電動化されているものではなく、やはり主動力の部分だけは油圧を使用しているとのことであった。



格納庫の様子(ボーイング 787)



格納庫内での集合写真

委員会会議 14:00 ~ 15:50

見学会実施後、大田区産業プラザの会議室において、国際委員会を開催した。新開委員長と藤原専務

理事より挨拶をいただき、その後各委員より各種の報告をしていただいた。

- ・各社における海外拠点での状況について
- ・JALの見学会に対する感想

各委員は現状のコロナ禍、すでに海外出張をされており海外と日本とのコロナ対応への違いなどについて話をしていただいた。またロシアとウクライナの紛争により、日本から欧州への飛行時間は、ロシア上空を飛ばないため約 15 時間かかっているとのことであった。その他、各種材料費の高騰に対して各社対応に追われているとのことであった。JAL の見学会については、大半の方より納得いく見学であったとの感想をいただき、今後の見学会については鉄鋼関係の工場、造船所、電車製造所などの意見を出していただいた。

また、2023 年度の活動についても議論を行い、2023 年 4 月に行われるハノーバメッセに対する工業会としての視察団設定については、現状のコロナ過ではまだ難しく、状況確認を行うとの結果となった。



国際委員会の会議の様子

次回は2023年2月に中小企業委員会と合同で実施の予定。

広報・PR 関連事業

第 100 回編集委員会

日時 9 月 16 日 (金) 15 : 00 ~ 16 : 30

場所 機械振興会館 6-66 会議室

出席者 川瀬委員長以下 14 名

事務局 饗庭、大熊

議事

最初に川瀬委員長から、フルードパワーの強み、利便性をアピールしていくような機関誌作りをしていきたい旨のお話をいただいた。引き続き、参加者の自己紹介を行った。

事務局から、秋号の進捗状況は順調に推移しているが、10 月 6 日の中小企業委員会の梶本会長のご講演を秋号に掲載するので発行が 10 月末になること、また北川先生と香川先生の YouTube 記事が秋号から暫く連載になるという報告があった。

来年の新しいテーマの議論を行った。事務局からは理事会社に SDGs の記事をお願いしていること、産学連携の取り組みとして TRAMI (自動車用動力伝達技術研究組合) を年間テーマとして検討している旨の報告があった。各委員からも様々な提案があった。

次回は、12 月 16 日に第 135 回 WG を開催する予定。

会員ニュース

☆オイルギヤジャパン株式会社殿が 9 月 13 日付けで正会員を退会されました。長い間、ありがとうございました。

今後の主要行事予定

※2022 年

☆11 月 24 日 (木) 西日本支部総会&理事懇談会

☆11 月 25 日 (金) 西日本支部総会懇親ゴルフ会

☆12 月 22 日 (木) 政策委員会

※2023 年

☆1 月 11 日 (水) 理事会・年始会

☆3 月 24 日 (金) 政策委員会

☆4 月 21 日 (金) 理事会・懇親会

☆5 月 18 日 (木) 定時総会・懇親会

☆5 月 19 日 (金) JFPA ゴルフ懇親会

9 月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)

(標準化事業)

空圧信頼性分科会

開催日 9 月 21 日 (水)

出席者

主 査 妹尾満 (SMC)

委 員 伊藤圭祐 (CKD)

- 〃 水野義宣 (TAIYO)
- 〃 中曽根祐司 (東京理科大学名誉教授)
- 〃 眞田一志 (横浜国立大学)

空気圧継手・チューブ分科会

開催日 9月27日(火)

出席者

- 主 査 浅里信之 (ニッタ)
- 委 員 日下部晃胤 (イハラサイエンス)
- 〃 高梨暁人 (SMC)
- 〃 藤原輝彦 (コガネイ)
- 〃 井戸田健 (CKD)
- 〃 細谷映之 (アオイ)
- 〃 八手又秀浩 (日本ピスコ)

油空圧シール分科会

開催日 9月28日(水)

出席者

- 主 査 南暢 (バルカー)
- 委 員 奥田智昭 (三菱電線工業)
- 〃 但木郁夫 (荒井製作所)
- 〃 寺島剛資 (エア・ウォーター・マッハ)
- 〃 宮本博夫 (NOK)
- 〃 高牟礼辰雄 (JFPA)
- 〃 菅井勝利 (SMC)
- 〃 曾谷崇 (甲南電機)
- 〃 安田義成 (油研工業)

ISO/TC118/SC4/WG1 国際会議

開催日 9月15日(木)~16日(金)

出席者

- 委 員 田中崇行 (SMC)

(技術調査事業)

技術委員会空気圧部会第594回特許分科会

開催日 9月16日(金)

出席者

- 幹 事 瀧 芳久 (CKD)
- 委 員 井野雅康 (SMC)
- 〃 安田善仁 (甲南電機)
- 〃 松本啓佑 (コガネイ)

I o T推進部会

開催日 9月29日(木)

出席者

- 部会長 満嶋弘二 (カヤバ)

- 委 員 木村秀和 (瓜生製作)

- 〃 園部達郎 (ASK)
- 〃 山科裕司 (ASK)
- 〃 高橋和弘 (カヤバ)
- 〃 谷田部隆史 (カヤバ)
- 〃 石井哲也 (川崎重工業)
- 〃 友部勇樹 (光陽精機)
- 〃 鶴賀寿和 (CKD)
- 〃 小杉文人 (東京計器)
- 〃 増野浩二 (日本ムーグ)
- 〃 浦井隆宏 (ボッシュ・レックスロス)
- 〃 辻本佳孝 (堀内機械)
- 〃 永野卓 (油研工業)
- 〃 小野篤志 (ヨコタ工業)

空気圧部会長 妹尾満 (SMC)

講師 井村進也 (日立建機)

(国際交流事業)

国際委員会

開催日 9月15日(木)

出席者

- 委員長 新開 諭 (甲南電機)
- 副委員長 澤田啓支郎 (タイヨーインターナショナル)
- 委 員 小坂篤夫 (イハラサイエンス)
- 〃 石渡雅史 (SMC)
- 〃 河口 悟 (CKD)
- 〃 鐘ヶ江拓二 (東京計器)
- 〃 山崎真人 (廣瀬バルブ工業)
- 〃 上原 透 (油研工業)

(広報・PR 関連事業)

第100回編集委員会

開催日 9月16日(金)

出席者

- 委員長 川瀬正裕 (カヤバ)
- 主 査 宮 能治 (カヤバ)
- 副委員長 水野純一 (CKD)
- 委 員 小辻一雄 (コガネイ : Web)
- 〃 多田昌弘 (CKD)
- 〃 常村憲史 (TAIYO : Web)
- 〃 豊田敏久 (川崎重工業 : Web)
- 〃 本間伸一 (SMC)
- 〃 松川正克 (阪上製作所)
- 〃 吉田将暉 (油研工業)
- 〃 寺尾 剛 (カヤバ)

編集顧問 北川 能 (Web)

- 〃 小山 紀

〃 田中 豊

(振興対策事業)

産機建機部会

開催日 9月2日

出席者

部会長 寺田 稔 (ダイキン工業)

委員 前山宣則 (カヤバ)

〃 橘高道治 (ダイキン・ダウ・ダノックス)

〃 上田真也 (ナブテスコ)

〃 手塚隆広 (油研工業)

空気圧本部会

開催日 9月14日

出席者

部会長 湯原真司 (CKD)

幹事 中村賢次 (ニューエラー)

会計 長谷川靖 (甲南電機)

委員 川端啓之 (アズビルTACO)

〃 宮崎文夫 (オリオン機械)

〃 池 燦圭 (TAIYO)

〃 澤田啓支朗 (タイヨーインタナショナル)

〃 沖田和久 (日本精器)

シリンダ部会

開催日 9月16日

出席者

部会長 原 俊之 (カヤバ)

委員 渡辺和功 (大垣鐵工所)

〃 藤井茂男 (光陽精機)

〃 足立琢哉 (南武)

〃 吉富英明 (南武)

〃 市川琢磨 (日本シリンダ共同事業)

〃 石井 貴 (油研工業)

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

<9月>

2日(金)

・振興対策 産機建機部会

14日(水)

・振興対策 空気圧本部会

15日(木)

・国際委員会

16日(金)

・編集(委)第100回編集委員会

・技術(委)空気圧部会第594回特許分科会

・振興対策 シリンダ部会

21日(水)

・標準化(委)空気圧信頼性分科会

27日(火)

・標準化(委)空気圧継手・チューブ分科会

28日(水)

・標準化(委)油空圧シール分科会

29日(木)

・技術(委)IoT推進部会

☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁HPでも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>
